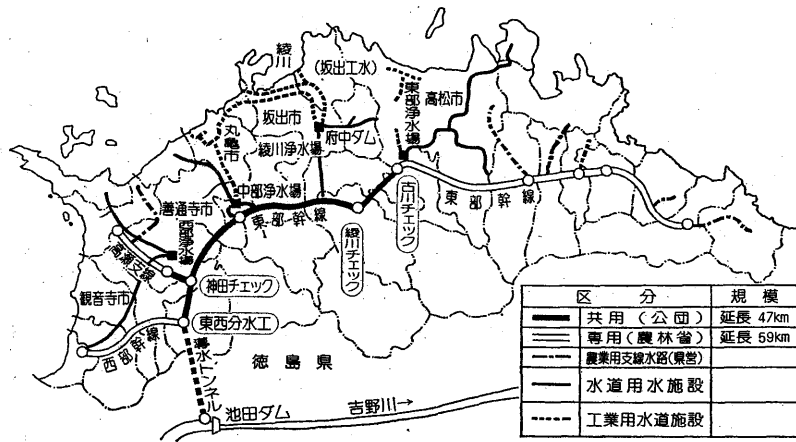


香川用水

吉野川の水を讃岐へひく、この空前の大事業を提唱したのは、郷土の偉人大久保謙之丞であり、明治二二（一八八九）年のことである。この提唱が軌道に乗ったのは、吉野川総合開発計画が具体化された昭和三七（一九六二）年からである。

香川用水計画は、吉野川水系の水資源利用の高度化を目指す吉野川総合開発計画の一環として、吉野川の水を香川県に導入し、本県の用水不足を全面的に解消することをねらった。それによって、産業基盤を強化するとともに、生活環境の整備を図ったのである。そのために、吉野川本流上流（高知県長岡郡本山町）に早明浦ダムを建設し、水量年間八億六三〇〇万リットルのうち、二億四七〇〇万リットルを池田ダムに取水した。さらに、阿讃山脈を貫く八誌の導水トンネルで財田町財田中長野に導き、東西分水工によって、東部幹線水路は大川郡白鳥町宮奥池区間へ、西部幹線水路は三豊郡豊浜町姥ヶ懐池まで導水するという総延長一〇六誌に及ぶ世紀の大事業を行った。

この大事業は、建設省から水資源開発公団に継承され、昭和四〇年四月一日、早明浦ダム建設から事業に着手



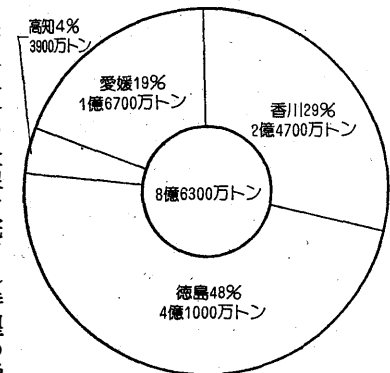
香川用水事業概要図

香川用水供給計画

用水区分	配分水水量	供給対象	付記
農業用水	年間 1億 500万 ^m ³	5市31町	
	夏期 最大 11.3 ^m ³/S	田 25,051ha	
	平均 8.0 ^m ³/S	畑(樹園地) 5,632ha	
	冬期 最大 1.5 ^m ³/S	計 30,683ha	
水道用水	年間 9,840万 ^m ³	5市19町及び香川県(五色台簡水)	給水普及率98% 1日1人最大給水量約 580ℓ
	平均 3.12 ^m ³/S	給水人口 86万人	
工業用水	年間 4,360万 ^m ³	坂出・丸亀地区及び高松地区	
	平均 1.38 ^m ³/S		



香川用水阿讃トンネル工事 財田中長野
(工事着工：昭和43年)



早明浦ダム利水配分図

した。香川用水工事は、昭和四三年一〇月、財田中長野の東西分水工敷地で、農林省・香川県・水資源開発公団の三者共催によって起工式が盛大に挙行された。

昭和四四年以降、工事は順調に進み、昭和四九年度には

幹線水路の全線を完了し待望の通水及び竣工式を五月に挙行した。六月から三か月間の試験通水を経て、九月から暫定管理に入り、香川県内に水道用水の送水を開始した。通水式後、付帯設備工事及び管理諸

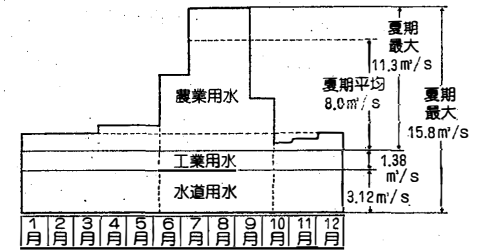
設備工事を実施し、昭和四三年着工以来七か年の歳月を経て昭和五〇年三月に全事業を完了、四月一日から本格通水を開始した。総事業費は一四八億一〇〇万円であった。

大久保謙之丞が吉野川導水の壮大なロマンを描いてから実に八六年を経て、ようやく開花したのである。毎年六月一日には、東西分水工において、先人の遺徳を偲び、用水の豊潤と安全を祈願して水口祭みなくまつりが盛大に行われている。

財田町の受益面積は水田九三・二畝、果樹八六・〇畝の計一七九・二畝である。



香川用水東西分水工で行われる水口祭（6月11日）



香川用水の導入水量